

各 位

2023年10月20日
株式会社リットーミュージック

その曲のコードが Cm の時、Dm7(♭5)の時、G(onB)の時…
「ベースは何の音を弾けばいい？」に自信がないベーシストのための本、
『ベースでコードを覚える方法とほんの少しの理論』発売！



インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）は、『ベースでコードを覚える方法とほんの少しの理論』を、2023年10月20日に発売しました。

曲の譜面などで目にするコードに関する知識は、ギターやピアノといった複数の音を同時に鳴らすことの多い楽器奏者に必要なものと思われがちです。

しかし実は単音（中心）で弾くことが多いベーシストも知っておくと演奏能力が上達します。

楽曲でベースがフレーズを弾くということは「コードごとにそれに合わせた何個かの音を抜粋して鳴らしている」ということであり、それは「ベース・ライン」と呼ばれたりもします。

ベース・ラインをきちんと作るためには、そこで鳴っているコードの構成音を知っている必要があり、コード名を見た時に鳴らして良い音(=どのフレットか)を瞬時に選べるようになるのが理想です。

本書はコード名の意味、コード進行に合わせて弾くための秘訣など、コードの初中級的な知識をベーシストが身につけられる本です。

いわゆる「コードの押さえ方」も掲載されていますが、メインのコンテンツは「ベース・ラインを作るために必要なコードの知識」です。

コードとは？ 基本中の基本はCコード

コードとは(例外を除いた基本として) 3つ以上の音の積み重ねを指します。そのうちの最も低い音を「ルート音」と言い(Rと表記することもある)、コード名では大文字で書かれる最初のアルファベットです。このルート音を「1度」と数えて、そこから高音を構んでいく手法が、コードの構成音の考え方です。その構成音が「コード名を見れば判断できる」ことがポップスの利便性です(クラシック音楽にはない考え方)。

例えばCコードの構成音は「ド、ミ、ソ」です。これは「1度、3度、5度」とひとつおきに数えていく積み方がコードの基本となる、C音からのパターンです。そしてCなどのコード名表記によって、3度と5度を省略しています。「構成音に変化があれば何かを表示する」前提として、なるべく短い表記になるよう工夫されているのです。

C



▲コードは「1+3+5」などのように、ひとつおきで構む

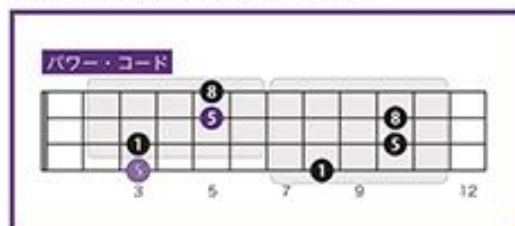
※「1度、3度、5度」の3音のことを、音楽では「トライアド」と言います(3度、5度に変化がある場合も含む)

コードは日本語では「和音(わおん)」といい、3音のコードは3和音、4音のコードは4和音と区別して呼んだりもします。

よく目にする パワー・コードって何？

ネットで検索したりYouTubeなどを見ていると「パワー・コード」という言葉を目にします。p.022で例外として書いた話なのですが、これは3つ以上の音ではなく「1と5」の2音だけを弾くことで、主にギターが複音でプレイすることを呼びます。そしてこれはベースにも関係します。ベース・プレイで、Cコードを弾く際に、最も簡単なのは「ド(-C)」だけを弾いていくことで、その次に簡単なのが「ドとソ(1と5)」を弾くというプレイです。これは、Cコードの小節内で自由に「ド〜ソ〜ド〜ソ〜」などと弾いて良いということです。

3弦ルート音のBOXで言えば、「5」を2弦5フレットと共に1オクターブ低い4弦3フレットで鳴らすこともOKであり、「1」から上に行こうが、下に行こうがそれも自由ということです。



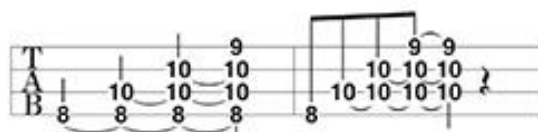
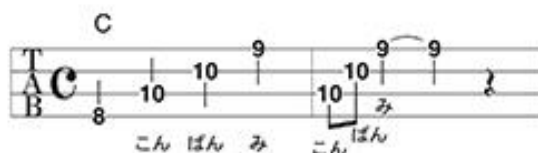
▲「1」から見た「ソ(5)」を2弦目で考え「8」も見ろ

「1、5」のパワー・コードを弾く利点は、3度の音は弾かないので「メジャー？マイナー？」を考えなくてもOKということです。楽曲の例としては、クイーン「アンダー・プレッシャー」のイントロのベース・ライン(1→低い5)です。

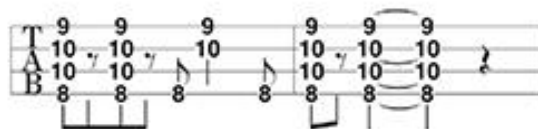
Cの構成音を重ねて複音で鳴らす

Track 40

Cキーのダイアトニック・コードを「バラバラに鳴らす」「バラバラに弾いていながら重ねていく(この弾き方をアルペジオといいます)」「4音同時に鳴らす」「休符で区切る」などとプレイを変えて、出てくるサウンドを確認しましょう。



*アルペジオで音を重ねていく(今後は、こう表記しない場合も自由に)



■書誌情報

書名：『ベースでコードを覚える方法とほんの少しの理論』

著者：いちむらまさき

定価：1,870 円（本体 1,700 円＋税）

発売：2023 年 10 月 20 日

発行：リットーミュージック

商品情報ページ <https://www.rittor-music.co.jp/product/detail/3123317114/>

CONTENTS

●第 1 章 基本的な概念としての入り口

『コードとは？基本中の基本は C コード』

『マイナー・コードの基本』

『7 は ♭ 7 番目の音！』 etc

●第 2 章 少し難しいコード名

『5 度の左は ♭』

『よく目にするパワー・コードって何？』

『分数コードって何？』 etc

●第 3 章 ダイアトニック・コードを覚える方法

『すべてのコードは、C のコードをズラせば導き出せる』

『E ブルースでラインを変えてみよう！』

『キーって何？』

『コードには進みたがる方向がある』

『分数コードはいつ出てくるの？』 etc

●第 4 章 複音でコードを鳴らす方法

『メジャー・コードのこんばんみ』

『4 本弦で 3 和音のダイアトニック・コード』

『3 本の弦で 1、3、7』 etc

PROFILE

いちむらまさき

岐阜県生まれ、東京都調布市在住。 ギタリスト、ウクレリスト、マンドリニスト、ライター。ソロ活動、楽器セミナー、ライブをしつつ、数々の教則本を出版。『コード進行を覚える方法と耳コピ&作曲のコツ』『音楽理論がおもしろくなる方法と音勘を増やすコツ』『楽譜を見るのがうれしくなる方法とプレイに直結させるコツ』『リズム練習がたのしくなる方法と前ノリ、後ノリのコツ』（すべてリットーミュージック）などを執筆。調布市でスタジオ対面レッスンと、リモートレッスンで音楽教室も開講している。

《著者レッスン・サイト》

<https://blog.goo.ne.jp/ichimuramasaki>

【株式会社リットーミュージック】 <https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド&レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー&クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア&コンテンツ事業を展開しています。新しく誕生した多目的スペース「御茶ノ水 RITTOR BASE」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やエンタメ情報サイト『耳マン』、Tシャツのオンデマンド販売サイト『T-OD』等のWebサービスも人気です。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: pr@rittor-music.co.jp